

スクールバス運行事業 4億2,016万9千円

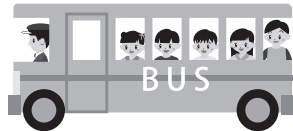
内容

小・中学校の統合により、遠距離通学となった児童・生徒の安全かつ安心な通学手段を確保する。

質疑

問 小中学校の混乗を推進すべきではないか。

答 路線の統合などの見直しは行っているが、小・中学校では、1日のスケジュール、1年間のスケジュールが違いためその調整が必要である。新たな乗車定員の設定、運行経路などがハードルとなるため、今後はこれらを勘案しながら検討していく。



自然資源活用推進事業 270万7千円

内容

天草市、上天草市および苓北町の地域住民、行政などが連携して、天草地域における地質遺産および関連する文化遺産の保護並びに活用を図り、地域の活性化を図る。

質疑

問 ジオパーク活動終了後の事業の進め方は。

答 これまでジオパーク推進協議会で行ってきた事業を継続しながら、「海にうかぶ博物館あまくさ」として事業を推進していく。

問 ジオパーク活動終了に伴うジオサイトなどの看板の文言修正は。

答 すでに令和元年度のジオパーク推進協議会の予算で修正を進めており、ほぼ完了している。

宮地岳観光交流施設整備事業 1,142万9千円

内容

本渡～牛深間の国道休憩施設として、宮地岳地区に観光拠点施設を整備することにより、天草島内の周遊性を高める。

質疑

問 経営支援業務の委託内容およびその必要性は。

答 宮地岳観光交流施設の物産販売部門は、地元で設立される会社に委託する予定となっており、専門的な方のアドバイスを求める要望もあっていることから、必要に応じ、同社および出荷協議会に対し、商品のブラッシュアップや陳列など、指導をしていただく。

以前に指摘した事項は改善されているか？

この事業の内容は？

必要な金額が配分されているか？

令和2年度一般会計予算

当初予算を厳しく審査しました

令和2年度当初予算額

一般会計	528億838万1千円
(前年比)	▲19億9,005万5千円)
特別会計	271億636万8千円
(前年比)	9億8,921万1千円)
合 計	799億1,474万9千円
(前年比)	▲10億84万4千円)

天草市議会では、予算や決算の審査を行う予算決算委員会を設置しており、令和2年第2回定例会では、補正予算1件(一般会計1件)、当初予算13件(一般会計1件、特別会計9件、企業会計3件)が提出され、審査を行いました。すべて原案どおり可決しました。

ここでは、一般会計の主な事業および2つの特別会計についてお知らせします。

天草未来人材育成・就職促進事業 631万9千円

内容

若者のU・I・Jターンに向けた情報発信や就職面談会の開催による就職支援、また、スキルアップできる環境を整備し、起業・創業につながる人材を育成することにより、産業振興および地域活性化を図る。

質疑

問 この事業で行うIT等スキルアップ研修の概要及び見込まれる効果は。

答 基礎的なIT技術に加え、ウェブデザインや動画制作といった専門的な技術も習得できる講座を実施したい。また、高いITスキルを天草でも習得できる機会を設けることにより、若者の定着につながる。

有害鳥獣資源化事業 4,360万円

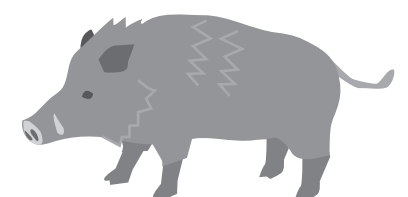
内容

捕獲者の負担軽減を図るとともに被害農家が自衛捕獲に参加しやすい環境を整備し、捕獲されたイノシシを地域の有用な資源としての活用を図る。

質疑

問 捕獲されたイノシシを肥料等に資源化する資源化处理施設の整備予定地及び処理能力は。

答 整備地として新和町を想定しており、処理能力は1日で最大14頭程度である。



公共交通対策事業 468万1千円

内容

市地域公共交通網形成計画に基づき、費用対効果が高く、実効性のある施策を企画立案する。

質疑

問 地域公共交通会議の中で、産交バスのほかに、福祉バス、スクールバス、デマンドバスなどの交通手段の合理化策について議論を行っているのか。

答 地域公共交通会議を2回開催し、有明町楠南地域への乗り合いタクシー導入などについて議論を行った。また、教育部局と協議を行い、路線バスとスクールバスの路線の重複状況、路線バスのダイヤの状況、スクールバス利用者の数、バス停の場所など総合的に勘案して、移行可能な地域を設定し、シミュレーションを行っていく。

令和2年度天草市国民健康保険特別会計予算 124億6,759万2千円

質疑

問 特定健診受診率向上に向けての取り組みについて。

答 40歳を迎えた方々の健診個人負担の無料化や広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ、みづばちラジオで周知を行っている。そのほか、健診未受診者で地域健診の申し込みをされていない方には、国民健康保険の診療報酬レセプトのデータと合わせて、生活習慣病での受診の有無により対象者を分け、健診の内容や大切さをわかりやすく説明する取り組みも行っている。

問 国保税算定における子どもの均等割についての議論状況について。

答 令和元年度から芦北町が18歳以下の子どもの均等割を廃止している。現在、県が主体となり国保運営に取り組んでおり、この件については、全国知事会および全国市長会から国に対して、均等割の軽減について申し入れも行なわれていることから、1自治体での問題ではないと考えている。



令和2年度天草市後期高齢者医療特別会計予算 13億5,402万7千円

質疑

問 看護師による個別訪問指導の対象に、85歳以上の高齢者も加えることはできないか。

答 看護師による個別訪問指導は、看護師2名体制で、75歳以上から84歳までの高齢者で医療中断者と健診結果のハイリスク者を対象に行っている。令和元年度の対象者は650名となっており、マンパワーにも限界があるため、対象者を増やすことについては難しい。

